

前立腺肥大症経尿道的前立腺切除術(TUR-P)パス

病棟 号室

私たち看護師は1. 手術に対する不安と緊張が和らぐように、また最良な状況で手術を受けられるようにお手伝いします。
2. 手術後の苦痛（痛みなど）の軽減に努め、合併症（余病）を起こさず順調に回復し安心して退院できるようにお手伝いします。

患者氏名： 様
説明日： 年 月 日

| | 入院日（手術前日） | 手術日 | | 術後1日目 | 術後2日目 | 術後3日目 | 術後4日目 | 術後5日目 | 術後6日目 |
|------|---|---|---|--|---|--|-----------------|-------------------------------------|---|
| | 手術前 | 手術後 | | | | | | | |
| 到達目標 | 手術の説明がわかり、手術を受ける準備が整う | 不安なく、手術に臨むことができる | 手術後の全身状態が安定する | 安静度を守ることができる | 血尿の増悪がなく尿量が保たれる | 水分摂取量が維持できる | 退院後の生活に対する不安がない | | 退院ができる |
| 検査 | 採血・肺機能の検査があります 体重測定をします |  | | 採血があります | | | | | |
| 活動 | 制限はありません | トイレ以外は病室に待機していただきます | 翌朝までベット上安静で起き上がることはできません 片足を固定することがあります 寝返りは看護師介助で行えます | 回診後、初回歩行は看護師と共に行います。 | 活動に制限はありません | → | → | → |  |
| 処置治療 | 夕方、麻酔科医による診察があります | 朝、病室で点滴をします 呼ばれたら手術着・丁字帯・弾性ストッキングに着替えます 点滴をしながら手術室に入ります | 医師の指示がある場合は膀胱の中を持続的に洗います 手術後の点滴をします 必要時酸素吸入をします 血栓予防のマッサージ器を翌朝まで足につけます | 回診があります。 医師の指示がある場合は持続的に膀胱の中を洗います 血栓予防のマッサージ器を外します 点滴をします | 回診があります。 医師の指示がある場合は持続的に膀胱の中を洗います | 回診があります。 病状に応じて尿の管が抜けます | 回診があります | → | |
| 食事 | 夕方まで普通食がでます | 0時から絶食となります。 飲水止めは麻酔科指示に従って下さい。 | 術後4時間後、腹部状態問題なければ飲水開始します。 | 昼より食事が開始されます (診察後、朝から食事開始になる場合もあります) |  | | | | |
| 清潔 | 入浴できます | 洗面・歯磨きできます | ベッド上でうがいができます | 洗面介助・清拭・更衣・陰部洗浄を看護師がいたします | 医師の指示があればシャワー浴できます | → | → | → | → |
| 説明看護 | 入院後の生活について説明します 夕方に看護師が手術までの予定を説明します | 全身状態の観察と検温をします ご家族の方は手術前より付き添いをお願いします | → 飲水摂取について説明があります | 全身状態の観察と検温をします | → 全身状態の観察と検温をします | 全身状態の観察と検温をします。 血尿の有無を確認後、尿管が抜けたら尿をためはじめます 1回尿量測定・パット使用について説明します 尿もれがある場合、骨盤底筋体操について説明します | 全身状態の観察と検温をします。 | 全身状態の観察と検温をします 退院後の日常生活について説明します | |
| 内服薬 | 持参された薬の内、医師の指示のあるもののみ内服します | 医師の指示があれば内服します | | 朝より医師の指示で内服を再開します | | | | | |

* 患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします